

平成28年8月28日  
今週のベストショット



奈多グラウンド 塩浜ジャガーズ 対 ブルーマーリンズ戦  
好調ブルーマーリンズを相手に好捕を見せ、勝利に貢献したジャガーズ西村左翼手。

写真：新町ウインズ 早田主大

**青松園B 山口投手1安打完封とHRでフレンズ今季1勝目**

三友クラブ (5勝3敗) 000000 0 足達●、尾澤一柿崎、谷崎

三苦フレンズ (1勝7敗) 41200X 7 山口○-佐藤

HR：生野(拓)、山口(三苦フ) 3BH：御手洗(三苦フ) 盗塁：吉村(雄) 2(三苦フ)

今シーズン未勝利の三苦フレンズの先発山口投手は、先週ホーネットに勝利した三友クラブ相手に初回連続四球で一死二三塁のピンチを招くも四番五番を連続三振に切って取る。その裏フレンズ一番吉村(雄)選手がバント安打で出塁すると、バント警戒の守備の裏をかき二番御手洗選手が左中間を抜く三塁打で先制。続く三番生野(拓)選手が右中間へ2ラン。更に四番山口選手がレフトへ柵越えの一発と、鮮やかな速攻で4点を奪うと、ここから気を良くした山口投手が本領発揮。一回から六回まで各イニング2個以上の三振を奪う計13奪三振。圧倒的な制球力とライズボールに三友クラブ打線のバットも空を切る。ノーヒッターが見えてきた四回表、三友クラブ三番中内選手の打球はセカンドとセンターの間へ小フライ。これを生野(拓)二塁手が追いすぎたか、ヒットになり二塁を奪われる。しかしここも三振で切り抜けた山口投手は悠々完封勝利。フレンズは一番吉村(雄)選手が2安打2盗塁1四球とリードオフマンぶりを発揮。三友クラブは調子の上まらない足達投手の後を受けた尾澤投手が最終回三者連続三振を奪うという収穫はあった。今季初勝利のフレンズは、若手が育ちつつある来期を見据えて残り5試合の戦い方が重要だ。(記事：レッドサンデーズ 八島久徳、写真：八島久徳、前田篤史)





三苦フレンズ山口投手の圧倒的な投球が光った。



ホーネッツ戦では好投したが、今回は不調だった足達投手。



一回裏、一番吉村雄成選手がいきなりのバントヒット。



二番御手洗選手が左中間へ先制の三塁打を放つ。



右中間へ2ランを放ったフレンズ三番生野拓磨選手。



続く四番山口選手もレフト柵越えの連続HR！



投げてよし、打ってよしのフレンズ山口選手。



ライズボールに三友打線のバットが空を切る。





2盗塁で俊足ぶりを発揮したフレンズ吉村雄成選手。



最終回、三者連続三振を奪った三友クラブ尾澤投手。

## 雁レク2 フェニックス大量10得点でサンデーズに勝利！

奈多フェニックス（6勝1敗1分）142003 10 今林（勇）○、松本一実延（新）

奈多サンデーズ（5勝2敗1分）001000 1 砂場●一長浜

HR：今林英、能丸（奈多フ）川上（奈多サ） 3BH：安藤、実延（新）（奈多フ）

初回に1点先制したフェニックスは二回、安打で繋ぎ今林英二選手のHRで4点を追加する。三回にも能丸選手の2ランで2点を追加！ゲームは決まったかと思われたがその裏、サンデーズのリードオフマン川上選手のHRで1点を返す。しかし四回、五回を無得点。対するフェニックスは六回に安藤選手、実延新伍選手の連続三塁打で3点を追加し10得点。最後はフェニックス二番手松本投手がしっかり締めゲームセット。フェニックスは2本のHRなどで10得点。対するサンデーズは川上選手のHRで勢い付いたかと思われたがフェニックス先発の今林勇投手、二番手松本投手に完全に抑えられた。（記事：三苦三球会 船橋史哉、写真：大津賢一）



サンデーズ先発の砂場投手。



フェニックス先発の今林勇太投手。



レフト前ヒットを放つフェニックス今林勇太投手。



ライトへHRを放ったフェニックス今林英二選手。



三塁打を放ちホームインするフェニックス安藤選手。



HRを放ちホームインするサンデーズ川上選手。

### 青松園A 奈多クラブの猛打爆発！14安打15得点で快勝！！

奈多クラブ (7勝1分) 2 1 2 0 5 5 15 今林 (瑠) ○ー安河内

ソルトベスターズ (8敗) 0 0 0 0 2 0 2 酒井●ー春田

HR: 安河内、今林 (卓)、高瀬 (奈多ク) 3BH: 上野 (奈多ク) 2BH: 今林 (瑠) (奈多ク)

雨の予報で心配されたが、雨も降ることなく万全のグラウンドコンディションでプレイボールとなる。試合前、なかなか揃わないメンバーにソルト中村監督が頭を悩ませている中、滑り込みで到着した酒井投手が先発で試合が始まる。先頭の今林 (賢) 選手を無難にサードゴロで上々の滑り出し、二番今林 (瑠) 選手の打球も打った本人も「あー！」と悔しがったセンターフライかと思われた打球がポトリと落ち二塁打となる。続く三番上野選手の三塁打で奈多クラブがラッキーな形で先制する。少し動揺したのかWPも出て、奈多クラブが初回2点を先制する。一回裏のソルトベスターズの攻撃。リーグ屈指の好投手、今林 (瑠) 投手の立ち上がり。初回から速球を主体にライズボールを絡めて無難に3人で終わる。しかし、3人中2人が右方向へのゴロアウトと今林投手攻略を考えたソルトバッターに二回以降期待を持てる印象の初回攻撃であった。二回表には、四球で出たランナーを手の怪我を推して出場している九番今林 (祐) 選手がタイムリーで返し1点。三回表にもヒットで出た上野選手、四球の馬場口選手を六番今林 (卓) 選手がタイムリーで返し2点追加。奈多クラブ優位に試合が進む。そして五回に奈多クラブがビッグイニングを作る。死球でランナーを出し、今林 (卓) 選手が三塁線を強烈に破るHR！ベンチからは「いつも三塁打止まりの男が珍しい」と冷やかされていました。続く代打高瀬選手もレフトオーバーの二者連続ホームラン！この時のソルトのレフトは腰痛を抱えた中村監督でなかなか走れない状態で必死にボールを追っていたが悔しい失点となった。さて、今林 (瑠) 投手VSソルト打線の方であるが、回を重ねるごとにギアが上がっていく今林投手の前に四回までエラーと四球のランナーのみでノーヒットに抑えられていた。五回表終了時点で10点差で奈多クラブがリード。このままソルトが無失点だとコールドが成立してしまい、さらにノーヒットノーランとなってしまう厳しい状況。中村監督も「なんとか1本出そうや！！」と選手に檄を飛ばす。この回の先頭は五番田中選手。一打席目も実は一二塁間を破るヒットかと思いきやライトから一塁へ素早い送球で不運なライトゴロアウトとなっていた。この日の今林投手には一番合っていたのでしょうか。この打席見事にセンター前へはじき返しソルト初ヒットを生む。やはり意識していたのか、今林投手の制球が少し乱れはじめ、続く矢野選手には四球で無死一二塁のチャンス。ここで今日苦しみながらも粘投している酒井選手が意地のレフト前タイムリーを放ち1点返す。さらに九番森選手のこの日二つ目のライトゴロの間にもう1点追加してこの回2点を返す。六回表にも安河内選手の豪快なHRなど四連打で5点を追加した奈多クラブが、その裏もキッチリ三人で抑えてゲームセット。終わってみれば、奈多クラブが14安打15得点と快勝であった。今



林（辰）監督も「打線の組み方に悩む」と言われていたように他のチームであればクリーンナップを打てるメンバーが一〜九番までいるような打線で切れ目なく対戦相手としては脅威だと感じた。今林（瑠）投手もさすがのピッチングで打っては3安打とチームの勝利に貢献した。ソルトも中村監督を中心にしたチームの結束と新メンバーの獲得を強化して次につなげてほしいと思う。また、この日ライトゴロが2本も出た。ソフトボールならではのプレーだとは思いますが。今林（瑠）投手の投球から考えた奈多クラブ野手陣の守備シフトがプレーで素晴らしかったと思う。（記事・写真：和白新町パイレーツ 白岩将義）



最後まで粘投したソルトベ이스ターズ酒井投手。



この日安定した守備で貢献した真弓三塁手。



2安打完投の奈多クラブ今林瑠生投手。



豪快な空振りのソルトベ이스ターズ石井選手。



五回表、痛烈に三塁線を破るHRの今林（卓）選手。



満身創痍で出場の中村耕一郎選手兼監督。





五回裏、意地の初ヒットを放つソルトベイスターズ田中選手。



六回表、安河内選手の豪快な左越えHRで11点目。

### 奈多グラウンド 流れはブルーマーリンズにあったが勝敗は？

塩浜ジャガーズ (5勝3敗) 20001 3 内田○—橋村  
 ブルーマーリンズ (4勝3敗1分) 01100 2 佐藤●—横山(健)

HR：糸井(ブルー)

試合は初回から動く。先攻のジャガーズは簡単に二死を取られるも三番内田選手から五者連続で四球を選び押し出し2つで無安打ながら2点を先制した。対するブルーは一番井上(広)選手、三番佐藤選手が安打を放つも無得点で終わる。続く二回裏ブルーの攻撃は先頭の五番糸井選手が完璧に捕らえた打球はレフトスタンドに消えていく本塁打を放つとブルーベンチは大盛り上がりする。更に末松選手の安打などで満塁の大チャンスを作ったが後が続けず本塁打の1点で終わってしまった。三回裏には四番桑野選手の安打などで作ったチャンスに相手のWPで得点を入れて追い付くも一気に逆転ならず。最終回となる五回表ここまでチームとしては無安打に抑えられていたジャガーズの攻撃。先頭の一番竹尾選手が右前へチーム初安打を放つと相手のWPに犠打を絡めて一死三塁のチャンスを作ると三番内田選手は一二塁間へ内野ゴロとなるが、その間に走者が本塁へ帰りついに自力で勝ち越す。更に五番荒木選手、六番橋村選手の安打などで満塁のチャンスを作るもさらなる追加点は奪えず1点のみ。何とか意地を見せたいブルーは一死から六番横山(祥)選手、七番横山(健)選手の安打でチャンスを作ったが最後は併殺となってしまい試合終了。勝ったジャガーズは好機を見逃さない集中力と内田投手の粘り強い投球が光った。対するブルーはこの日8本の安打を放ち何度も何度も好機は作ったが、あと1本が出なかった事が結果的には敗戦の原因になってしまった。しかし若手を中心に躍動する姿は今後の他チームの脅威になる予感のする試合でもあった。(記事：新町ウインズ 野中一史、写真：早田主大)



ジャガーズ先頭打者 竹尾選手。



ジャガーズ荒木選手。





チャンスに打席に立つジャガーズ西村選手。



勝利投手のジャガーズ内田選手。



好投したブルーマーリンズ佐藤投手。



判定はボール?



本塁打を放った糸井選手を笑顔で迎えるナイン。



バント処理をするジャガーズ橋村三塁手。

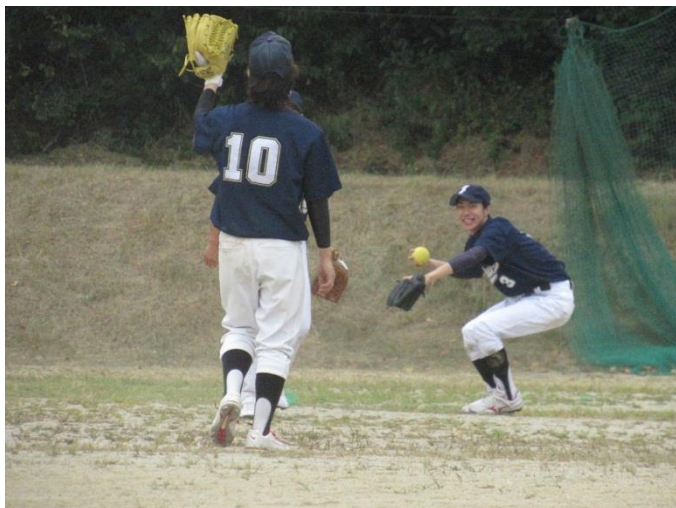


末松選手の打球にジャンプするも届かず。



左柵越えHRを放ったブルーマーリンズ糸井選手。





左中間の打球を好捕したジャガーズ西村選手。



最終回、ピンチにマウンドに集まるジャガーズナイン。

## 第15週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第15週、8月28日は4試合が行われました。

青松園Bの三友クラブ対三苦フレンズ戦は、初回のピンチをフレンズ山口投手がその剛速球で連続三振に切って取ると、その後は圧巻の奪三振ショー。その裏、三番生野（拓）、四番山口選手のアベックHRで勢いに乗ったフレンズは三回までに7点を取り、投げては山口投手が1安打完封、0-7でフレンズ待望の今季勝利。後半に向けて貴重な1勝となった。

雁レク2の奈多フェニックス対奈多サンデーズの5勝1敗1分同士の対戦は、初回から相手エラーで先制したフェニックスは、二回に今林英二選手、三回に能丸選手のHRでリードを広げると、最終回は安藤、実延新伍選手の連続三塁打で計10得点。投げては今林勇太→松本投手のリレーで奈多サンデーズ打線を1点に抑え10-1でフェニックスの大勝。サンデーズは一番川上選手が一人気を吐いた。

青松園Aの奈多クラブ対ソルトベイスターズ戦は、一回表から二安打で2点を挙げた奈多クラブが主導権を握ると、今林瑠生投手が四回まで無安打ピッチング。五回裏に2点を失うも14安打15得点を挙げた奈多クラブが勝利。打者40人を送り込んだ奈多クラブだが六回まで回が進んだことを考えると、いかに守備の時間が短かったかが窺い知れる。今年の奈多クラブは優勝という明確な目標を掲げて以前のような攻撃にむらっ気が無くなり着実に勝利を手に入れている。

奈多グラウンドの塩浜ジャガーズ対ブルーマーリンズ戦は、初回二死から無安打で2点を先制したジャガーズに対し、糸井選手のHRなどで追いついた好調ブルーマーリンズだったが、五回表に一番からの好打順で右前打で出た竹尾選手をWPで二進したのち、二番福富選手がきっちりバントで送って一死三塁を作って内野ゴロの間に勝ち越し、これが決勝点。きっちり二度の送りバントを決めたジャガーズ福富選手の活躍に注目したい。ブルーマーリンズはこれで5割に戻ったが、ここからが本当に真価を問われるシーズン終盤戦だ。

9月に入り涼しくなりシーズン終盤に向けて各チームはお尻に鞭が入るころだと思います。ここで、9月10日（土）の運営会議後の「Go! Do! 飲み会2016」で後半戦に向けての各チームのいろいろなお話を聞きたいと思います。各チーム一人は参加で！